

## 質 問 ・ 回 答 書

質 問 1	2025年または2024年の岡山後楽園の欧米豪の入園者数のデータ（月別など）をお持ちですか？お持ちでしたら、ご教示いただけますか？
回 答 1	仕様書にあるとおり、2025年の岡山後楽園の外国人入園者数は約22万人となっていますが、欧米豪の入園者数までは把握できていないところです。

質 問 2	調査実施にあたり、岡山後楽園事務所への実施許可申請や場所の確保、調査員の入園料免除等の調整は、県民局で行っていただける認識でよいか。
回 答 2	お見込みのとおり、当該調査の実施にあたって必要となる調整は、当県民局において行います。

質 問 3	受託者が独自に後楽園事務所等との交渉・調整を行う必要がある場合、その調整に要する経費（人件費等）を見積に算入してよいか。
回 答 3	当該調査の実施にあたって必要となる交渉・調整については当県民局が行いますので、その部分に要する経費（人件費等）は想定していませんが、仕様書に掲載した本事業の業務目的を達成するにあたり、より充実した成果を得るため、別に必要な調整事項があると判断し、経費（人件費等）が見込まれる場合は、見積に算入・明記の上、説明をお願いします。

質 問 4	調査対象である「欧米豪」の定義には、北欧諸国やカナダ、ニュージーランド、および英語を母国語とするアフリカ圏等の個人旅行者も含まれるか。
回 答 4	調査対象である「欧米豪」の定義には、英語を母国語とするアフリカ圏等の個人旅行者は含みませんが、北欧諸国やカナダ、ニュージーランドも含みます。

質問 5	調査対象が「FIT（個人旅行者）」であることの確認は、調査員による口頭確認（スクリーニング）のみでよいか。ツアー客等でないことを証明する厳密な基準（予約画面の提示等）を求めるか。
回答 5	調査対象が「FIT（個人旅行者）」であることの確認は、調査員による口頭確認（スクリーニング）のみで差し支えありません。

質問 6	設問の多言語対応について、仕様書にある英語・仏語・独語以外に、県として重点的に収集を希望する特定の言語はあるか。
回答 6	多言語対応について、仕様書に掲載した本事業の業務目的を達成にあたって、より充実した成果を得るため、効果的な調査方法等があれば、ご提案の上、説明をお願いします。

質問 7	「提案書等作成要領」3（3）ウにある「有効サンプル回答数の保証数量」について、悪天候、災害、あるいは岡山後樂園全体の来園者数の著しい減少など、受託者の責によらない事由により、期間内に保証数量に達しなかった場合の取扱いはどのようなになるのか。
回答 7	<p>悪天候または岡山後樂園全体の来園者数の著しい減少による場合については、調査期間や日数を調整の上、「有効サンプル回答数の保証数量」に達するよう調査を実施してください。</p> <p>ただし、大規模災害等による場合で、岡山後樂園の入園が不可能になるなど、想定外の事象が発生した場合については、「仕様書」7（14）のとおり、県民局との協議によることとします。</p>

質問 8	上記の未達が生じた場合、目標数に達するまでの実施日数の追加が必須となるのか、あるいは実施収数に基づく実績精算（委託料の減額等）となるのか伺いたい。
---------	---

<p>回 答 8</p>	<p>目標数に達するよう、実施日数を追加するなどのご対応をお願いします。</p> <p>なお、大規模災害等で実施が困難な場合や、日数を追加しても目標数に達しないことが明らかな場合は、県民局との協議により業務内容を決定することとします。</p>
----------------------	---

<p>質 問 9</p>	<p>調査員による対面回答（紙・タブレット）に加え、現場でQRコードを配布し、旅行者が後ほど自身のスマートフォン等で回答する「WEB回答方式」を予備的手法として併用することは可能か。</p> <p>上記のWEB回答方式による回収分についても、保証すべき「有効サンプル回答数」にカウントしてよいか。</p>
<p>回 答 9</p>	<p>調査実施にあたっては、岡山後楽園を訪れたFITに対し、外国語スキルや対面調査の経験等を有する調査員が直接コミュニケーションを取りながら、調査項目に回答いただき、その御礼として謝礼品を配布することを基本とします。</p>